平成２２年度　　研究実践報告書

# 豊かな未来を創る子どもたち
## ～自ら学ぶ力と豊かな心を育む学校図書館の研究～

佐賀市立高木瀬小学校

## １　はじめに

本校では、本との出会いを大切にして、豊かな心を育む読書センターとしての学校図書館、また学ぶ力や情報を活用する力を育む学習・情報センターとしての学校図書館として子どもたちの読書活動の担い手になるように、学校司書と連携を図りながら取り組んだ。今年度は、年間貸し出し一人平均１２０冊を目指して、昨年度以上に貸し出しが増加するように、読書センターや情報・学習センターとして更に充実する取り組みとともに、研究重点の⑤「地域や家庭との連携し学びを創造する学校図書館」にも取り組んだ。

## ２　研究の実際

### （１）地域や家庭との連携し学びを創造する学校図書館

#### ①高木瀬小 PTA の活動方針

PTA 総会で、PTA 会長から、活動方針の一つで「家読（うちどく）」の話があり、一週間に一度、家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す家読（うちどく）をしてみませんかという提案があった。ＰＴＡ新聞には、家読（うちどく）のコーナーを設け、お薦めの本の紹介がされた。

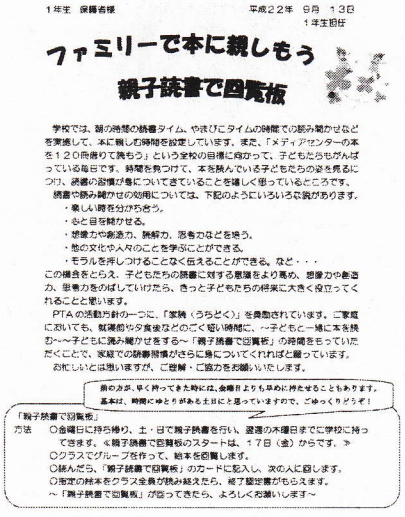
#### ②１年生の取り組み～親子読書で回覧板～

読書クイズや読み聞かせなど、読書に興味を持つような授業を授業参観で行い、最後に「親子読書で回覧板」の取り組みについて話をした。２０分休みには、一緒にメディアセンターへ行ってもらい、子どもたちの様子を見てもらった。

（あ）方法

・金曜日に本を持ち帰り、土・日で親子読書を行う。翌週の木曜日までに本を持ってくる。
・クラスでグループを作って回す。（今年度は、４グループで７～８人）
・読んだら「親子読書で回覧板」のカードに記入する。
・指定の絵本をクラス全員が読み終えたら、終了認定書を渡す。

（い）配布したプリント　　（う）親子で記入するプリント



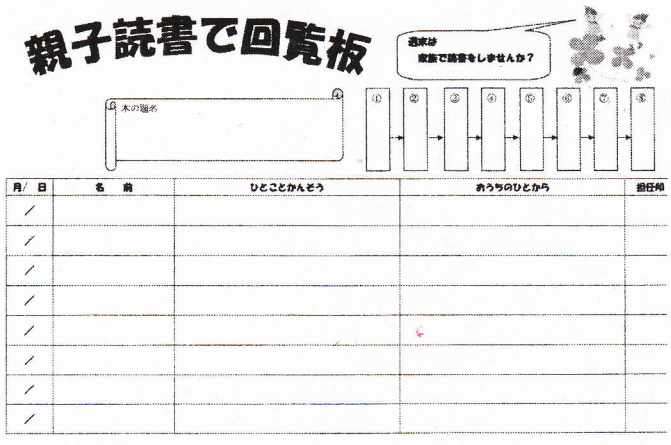
1年生　保護者様　　平成22年　9月　13日
1年生担任

ファミリーで本に親しもう
親子読書で回覧板

学校では、朝の時間の読書タイム、やまびこタイムの時間での読み聞かせなどを実施して、本に親しむ時間を設定しています。また、「メディアセンターの本を１２０冊借りて読もう」という全校の目標に向かって、子どもたちもがんばっている毎日です。時間を見つけて、本を読んでいる子どもたちの姿を見るにつけ、読書の習慣が身についてきていることを嬉しく思っているところです。
読書や読み聞かせの効用については、下記のようにいろいろ説があります。
・楽しい時を分かち合う。
・心と目を結びつける。
・想像力や創造力、読解力、思考力などを培う。
・他の文化や人々のことを学ぶことができる。
・モラルを押しつけることなく伝えることができる。など・・・
この機会をとらえ、子どもたちの読書に対する意識をより高め、想像力や創造力、思考力をのばしていけたら、きっと子どもたちの将来に大きく役立ってくれることと思います。
PTA の活動方針の一つに、「家読（うちどく）」を奨励されています。ご家庭においても、就寝前や夕食後などのごく短い時間に、～子どもと一緒に本を読む～～子どもに読み聞かせをする～「親子読書で回覧板」の時間をもっていただくことで、家庭での読書習慣がさらに身についてくればと願っています。
お忙しいとは思いますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

前のお子、早く持ってきた時には、金曜日よりも早めに持たせることもあります。
基本は、時間にゆとりがある土日にと思っていますので、ごゆっくりどうぞ！

「親子読書で回覧板」
方法　○金曜日に持ち帰り、土・日で親子読書を行い、翌週の木曜日までに学校に持ってきます。≪親子読書で回覧板のスタートは、１７日（金）からです。≫
○クラスでグループを作って、絵本を回覧します。
○読んだら、「親子読書で回覧板」のカードに記入し、次の人に回します。
○指定の絵本をクラス全員が読み終えたら、終了認定書がもらえます。
～「親子読書で回覧板」が回ってきたら、よろしくお願いします～



親子読書で回覧板

最近は家族で読書をしませんか？

木の題名

| 月/日 | 名前 | ひとことかんそう | おうちのひとから | 担任印 |
|---|---|---|---|---|
| / | | | | |
| / | | | | |
| / | | | | |
| / | | | | |
| / | | | | |
| / | | | | |
| / | | | | |
| / | | | | |

（え）読書で回覧板のバック・本・回覧板のプリント




（お）今年度回覧した本

| クラス | １の１ | １の２ | １の３ | １の４ |
|---|---|---|---|---|
| 本の名前 | てがみをください<br>おこだでませんように<br>ふるやのもり<br>いろいろおんせん | めっきらもっきらどおんどん<br>ライオンとぼく<br>こそだてゆうれい<br>しゅくだい | ごめんねともだち<br>１４ひきあきまつり<br>おかあさんげんきですか？<br>はたらきもののあひるどん | ずーっとずっとだいすきだよ<br>たったさんびきだけのいけ<br>まゆとおに<br>ぼくは１ねんせいだぞ |

③高木瀬デー「親子読書券」の発行

２月の高木瀬デー（授業参観）で、親子読書を発行した。２０分休みや昼休みに親子で、メディアセンターへきた子には、プラス１冊本を借りることができるようにした。またおうちの方が来れない場合でも、親子読書券を持ってきた子には、おうちの方が読んでみたい本の貸し出しを行った。

④やまびこタイム（朝の読書タイム）

毎週月曜日は、読書タイムとして、全校一斉に取り組んだ。隔週ごとに、保護者のボランティアによるグループ（高木瀬おはなし会がらっぱ）に読み聞かせをしていただき、本の世界に浸る時間をみんなで共有した。

⑤高木瀬おはなし会がらっぱとの連携

月に１回程度定期的に、昼休みにお話会を開いてもらったり、年に１回は、一日お話会（１～６年生まで各１時間ずつ）を、メディアセンターで行い、学年に応じた内容で本の読み聞かせや人形劇などをしてもらったりした。

## 3　おわりに

「親子読書で回覧板」のバックを自分の順番がくると、嬉しそうに持って帰る子が多かった。また、一巡して、次の本が回ってくるのも楽しみしていた。週に１回で回覧するというペースも、家庭で一緒に読書をする時間の余裕もできたようだ。今年度１年生対象に始めた「親子読書で回覧板」で、家庭との連携も少し深まっていった。来年度は、低学年に広げるようにしていきたい。また、目標としていた年間貸し出し一人平均１２０冊は、一人平均１４４冊の貸し出しになった。今後も子どもたちが、様々な本に出会うことができる学校図書館を目指していきたい。